

炭酸カルシウム水和剤を加用した無機銅水和剤は 落花期以降のモモせん孔細菌病対策に有効である

福島県農業総合センター 果樹研究所 病害虫科

1 部門名

果樹－モモ－病害虫防除

2 担当者名

七海隆之、菅野孝盛

3 要旨

無機銅水和剤はモモせん孔細菌病に対する重要な防除薬剤であるが、開花後に本剤を散布すると薬害が発生するため、使用時期は開花前と収穫後の秋季に限定されている。そのため、「炭酸カルシウム水和剤を加用することで落花期以降に使用できる無機銅水和剤」の本病に対する防除効果を調査したところ、有効性が明らかになった。しかし、薬斑による果実の汚れや新梢葉での薬害（図1）が発生する可能性があるため、使用時期は落花期～5月下旬頃までを目安とする。

- (1) 2019年の試験において、炭酸カルシウム水和剤（商品名：クレフノン）100倍を加用した無機銅水和剤（商品名：クプロシールド）1000倍は、対照のオキシテトラサイクリン水和剤（商品名：マイコシールド）2000倍と同等の防除効果が認められた（表1）。
- (2) 本剤は2020年9月9日に、モモせん孔細菌病についての適用が拡大登録となった。
- (3) 薬害の発生を軽減するため、必ず炭酸カルシウム水和剤を加用するとともに連用は避ける。

表1 モモせん孔細菌病に対する無機銅水和剤の防除効果（2019年）

供試薬剤	希釈 倍数	新梢葉調査		果実調査		薬害の 発生
		調査 葉数	発病葉率 (%)	調査 果数	発病果率 (%)	
無機銅水和剤（炭酸カルシウム水和剤100倍加用） （クプロシールド（クレフノン100倍加用））	1,000倍	889	8.3	150	0	-
オキシテトラサイクリン水和剤 （マイコシールド）	2,000倍	852	5.8	150	0	-
無処理	-	780	19.1	150	4.7	-

注) 供試薬剤の散布日は2019年5月9日、20日及び28日。発病調査日は6月11日。



図1 無機銅水和剤散布による果実の
汚れ（左）及び新梢葉の薬害（右）

4 成果を得た課題名

- (1) 研究期間 平成27～令和2年度
- (2) 研究課題名 安全で効率的な新農薬・新資材等の実用化
〔平成31年度（2019年）新農薬等に関する試験研究事業〕

5 主な参考文献・資料

- (1) 令和3年版 福島県農作物病害虫防除指針。